

記載例(申込書)

申込書の記載例(P. 1)

(参考様式)

新市場開拓に向けた水田リノベーション事業 取組計画書

締切：令和3年3月5日(金)

※ 必要事項を記入して、営農計画書を提出している地域農業再生協議会へ提出してください。

〇〇〇〇農業再生協議会長 殿

1. 申込者 必須

氏名又は法人・組織名	稲田 育男
代表者氏名(法人・組織のみ)	
住所	(〒〇〇〇-〇〇〇〇) 〇〇県〇〇郡〇〇町〇-2-3

2. 取組品目・面積 必須

▽ 取組む品目に✓を入れてください。
 ▽ 令和2年度作付面積、令和3年度事業取組面積は、㎡単位で、小数点以下切り捨ての数値を記載してください。
 ▽ 高収益作物に取組む場合は、具体的品目を記載してください。
 なお、高収益作物については、水田活用の直接支払交付金の産地交付金によって地域農業再生協議会等が令和3年度に支援を予定している品目が対象ですので、事前に地域農業再生協議会の事務局までご確認ください。

チェック欄	品目	令和2年度作付面積(㎡)	令和3年度事業取組	
			面積※(㎡)	出荷・販売契約数量(kg)
✓	新市場開拓用米	4,000	20,000	10,000
	加工用米			
	麦 【輸出向け】			
	【加工向け】			
	大豆 【輸出向け】			
✓	【加工向け】	10,000	15,000	2,300
	高収益作物【輸出向け】			
	品目:			
	品目:			
✓	高収益作物【加工・業務用】	1,000	1,500	7,500
	品目: 玉ねぎ	1,000	1,500	7,500
	品目:			

※ 令和3年度の作付面積と本事業取組面積は異なる場合があります。
 「令和3年度事業取組 面積」欄には、低コスト生産等の取組を各品目で確実に3つ以上行う予定の面積(=支援対象面積)であって、実需者との契約取引に基づく出荷・販売数量に反した面積を記載してください。

・提出する協議会名を記載

・申請者の氏名、住所等を記載する。
 ・法人、集落営農の場合は代表者の記載も必要。

・✓を入れる(取組む品目)のは、今回助成を申請する品目。

・麦、大豆の輸出向けとしては、例えば輸出向けの麦・大豆のほか、輸出向けの味噌や醤油等などの加工品原材料として作付する場合に該当する。

・生産した麦、大豆の用途(輸出向け又は加工向け)が分からない場合は、出荷・販売する集出荷業者や実需者等に確認する。

・品目毎の令和3年度事業取組面積は、実需者との取引契約に基づき出荷・販売する数量相当の面積を地域の合理的な単収(※)を用いて算定する。

※新市場開拓用米や加工用米については、営農計画書の記載に当たって用いている単収と合わせる。

麦、大豆、高収益作物については、地域又は農業者の直近5年間のうち、最大値・最小値を除いた3年間の平均単収。

・高収益作物に取組む場合は、具体的品目を記載する(なお、水田活用の直接支払交付金の産地交付金によって地域農業再生協議会等が令和3年度に支援を予定している品目が対象)。

申込書の記載例(P. 2)

3. 実需者※との契約の有無について 必須

※ 本事業における実需者とは、加工等を行う食品製造事業者や外食・中食業者のほか、輸出を代行する輸出事業者等です。

▽ 取り組む品目毎に、(1)～(3)について該当する場合、具体的な実需者名((2)には、集出荷業者等名も併せて)を必ず記載してください。また、高収益作物については、具体的な品目も記載してください。

▽ 添付書類として、集出荷業者等や実需者との販売契約書の写しや、契約を締結する計画等を提出してください。

	新市場 開拓用米	加工用米	麦 (輸出 向け)	麦 (加工 向け)	大豆 (輸出 向け)	大豆 (加工 向け)	高収益 作物 (輸出 向け)	高収益作物 (加工・ 業務用)
							品目名 ()	品目名 (玉ねぎ)
(1) 直接、実需者と販売 契約を締結している 又は締結する計画を 有している場合、 実需 者名を右欄に記載	実需者名 株式会社 〇〇 全農イン ターナシ ョナル							
(2) 集出荷業者(JAや卸 売業者)等と出荷契約 を締結し、その集出荷 業者等が実需者と販 売契約を締結してい る又は締結する計画 を有している場合、集 出荷事業者名と実需 者名を右欄に記載	集出荷業者等名					JA 〇〇		
	実需者名					株式 会社 ××		
(3) 農業者(申込者)が直 接加工等を行っている など、実需者の役 割を兼ねている場合、 加工等の取組内容を 右欄に記載	加工等の取組内容							・皮むき、 芯抜き 等の前 処理 ・カット 等の一 次加工

・高収益作物については、具体的な品目を記載する。

・取り組む品目毎に、必ず(1)、(2)又は(3)に該当している必要があるほか、必ず実需者名等を記載する。

・(1)及び(2)には、具体的な実需者名((2)には、集出荷業者等名も併せて)、(3)には、加工等の具体的な取組内容を必ず記載する。

・集出荷業者等や実需者との販売契約書の写しや、契約を締結する計画等について、当該申込書の提出時に添付が必要。

・実需者名が分からない場合は、集出荷業者等に確認する。

・上記表で実需者名等が書ききれない場合は、残りをこちらの欄に記載する。

上記表で実需者名等の欄が不足するなどの場合には以下に記載してください。その場合、品目も併せて記載してください。

新市場開拓用米:株式会社△△

申込書の記載例(P. 3)

4. 実施する取組

※ 品目毎に3つ以上の取組メニューに✓を入れて下さい

(1) 新市場開拓用米、加工用米に取り組む方は記載 選択

番号	取組メニュー	新市場開拓用米	加工用米
1	直播栽培	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	疎植栽培	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	高密度播種育苗栽培	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	ブール育苗	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	温湯種子消毒	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	効率的な移植栽培	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	作期分散	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	土壌診断等を踏まえた施肥・土づくり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	効率的な施肥	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	効率的な農業処理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	化学肥料の使用量削減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	化学農薬の使用量削減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	多収品種の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	農業機械の共同利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	スマート農業機器の活用	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16	地域特認メニュー()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地域特認メニュー()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(2) 麦に取り組む方は記載 選択

番号	取組メニュー	麦(輸出向け)	麦(加工向け)
1	融雪促進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	新たに導入した品種に応じた栽培管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	ふく土・踏圧	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	難防除雑草対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	生育予測システムを活用した開花期・収穫期予測	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	効率的・効果的な施肥	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	重要病害虫の防除	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	排水対策管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	農業機械の共同利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	スマート農業機器の活用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	地域特認メニュー()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地域特認メニュー()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- ・取り組む品目毎に、確実に実施する取組メニューを3つ以上選択して✓を入れる。
- ・実際に行った取組メニューが3つ以上となるよう、ほ場の状況等により作業が不要となる可能性のある取組メニューを選択する際は注意すること。
(例えば、ドローンによる追加防除を実施する予定で「15 スマート農業機器の活用」を選択していたが、防除の必要性がなくて実施せず、結果として取組数が3つ未満となった場合は、助成要件を満たさないこととなる。)
- ・取組メニュー毎の取組基準については、別表参照のこと。

申込書の記載例(P. 4)

(3) 大豆に取り組む方は記載 選択

番号	取組メニュー	大豆(輸取向け)	大豆(加工向け)
1	大豆300A技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	難防除雑草対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	土壌診断等を踏まえた施肥・土づくり	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	新品種の導入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	効率的な施肥	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	均平作業(傾斜均平)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	摘心栽培	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	歇間冠水	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	団地化の推進	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	化学肥料の使用量削減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	化学農薬の使用量削減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	排水対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	農業機械の共同利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	スマート農業機器の活用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	地域特認メニュー(〇〇の実施)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地域特認メニュー()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

・取り組む品目毎に、確実に実施する取組メニューを3つ以上選択して✓を入れる。
 ・実際に行った取組メニューが3つ以上となるよう、ほ場の状況等により作業が不要となる可能性のある取組メニューを選択する際は要注意。
 ・取組メニュー毎の取組基準については、別表参照のこと。

・都道府県農業再生協議会が地域特認メニューを設定する場合は、それを選択することも可能。

(4) 高収益作物に取り組む方は記載 選択

番号	取組メニュー	高収益作物(輸取向け)		高収益作物(加工・業務用)	
		品目名()	品目名()	品目名(玉ねぎ)	品目名()
1	生物農薬の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	農薬によらない病害虫対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	農薬によらない土壌消毒	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	農薬のドリフト対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	化学肥料の使用量削減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	化学農薬の使用量削減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	土壌診断等を踏まえた施肥・土づくり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	新品種の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	排水対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	農業機械の共同利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	スマート農業機器の活用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	地域特認メニュー()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地域特認メニュー()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

・高収益作物については、具体的な品目を記載する。

・同上。

申込書の記載例(P. 5)

5. 確認欄 (以下の□に✓を入れ、署名をしてください) **必須**

- 国の他の助成事業(水田麦・大豆産地生産性向上事業、端境期等対策産地育成事業等の令和3年産に係る事業(水田活用の直接支払交付金のうち産地交付金及び水田農業高収益化推進助成は除く))で支援を受けている又は受ける予定となっている取組は選択しておらず、補助金等の重複受給はありません。
- 本事業で支援を受けた水田の面積については、令和3年度水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成(加工用米、麦・大豆)及び都道府県に対する産地交付金の取組に応じた追加配分(新市場開拓用米)の対象面積から除外されることについて了承します。
- 取組を実施しても、採択審査の結果、助成対象とならない場合があることについて了承します。
- 出荷・販売契約書や出荷・販売伝票等の証拠書類を令和4年度から5年間保管し、地域農業再生協議会や地方農政局等からの求めがあった場合には、提出します。
- 以下の場合には、補助金を返還すること、又は交付されないことに異存ありません。

- ・本計画書に基づく内容において、虚偽の申請をしたことが判明した場合
- ・正当な理由なく、本計画書に記載した対象作物を作付けていないことが判明した場合
- ・本計画書に記載した対象作物について、必要な出荷・販売契約等の締結をしていないこと、適切な作付け・肥培管理・収穫等が行われていないことや、正当な理由なく、出荷・販売をしていないこと、その他交付要件を満たす取組が行われていないことが判明した場合
- ・必要書類が保管されておらず、要件を満たすことが確認できない場合や提出を拒む場合
- ・地域農業再生協議会等による適正な事業執行等のための調査に応じない場合

上記確認内容に同意すること、助成対象となった場合には、確実に取組を実施するとともに、取組の結果報告を行うことを誓約します。

令和3年 2月〇日

氏名 稲田 育男

・5つの確認項目をよく読んで、同意できる場合はそれぞれ✓を入れる。

・左記の誓約事項に同意できる場合は、日付を記載し、署名を行う。